

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法● 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、必須事項をご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局 【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/>

お問い合わせ先
ご郵送先

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 - ①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて...

三重大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成26年9月30日(火)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名に「三重大学ブランド商品詰め合わせ(三重大学カレー2箱、三重大学[欧風]ジビエカレー1箱、チェンミコーヒー1箱)」を、50名に「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくんわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



新しく生まれ変わったレーモンドホールで三重大学の四季折々の写真展を行いました。本学を歩いていると、実に自然の移り変わりが美しい大学だと再認識します。(ロッキー)

えっくすの編集では、毎回多くの出会いがあります。今回も「輝くO・OG」の皆さんにお会いし、パワーをたくさんいただきました。私達も素敵に輝けますように! Shine like a star☆(織姫)

料理中よく怪我します。親指の第一関節にまだに傷跡が...。いくつ生傷をこさえたら料理上手になるんでしょう? 果てしない道のりです。(プカプカ)

ようやく今年度最初の「えっくす」が完成してほっとしています。多くの方々に読んでもらえるといいなあ。(イチカワ)

E-mail, Facebook, Twitter, Line...離れていてもすぐに連絡できて便利ですね。しかし、本当に相手とコミュニケーションができていないのか、と不安になるときがあります。パソコンや携帯電話に頼らず(写真のように)相手に飛び込んでいく、体を張った交流も時には必要ではないでしょうか。(S.O.)

広報室に来て、1年が経ちました。2年前の今頃はカナダの青い空の下で生活していたなんて...夢のようです。今回はこの経験がえっくすの編集に活かせることはなかったですが、いつかきっと!(きやろらいん)

自然いっぱい三重大学。この時期、虫もいっぱいやってきます(涙)しかし、たまに虫を追って嬉しい訪問者も♪(nico)

気分リフレッシュも兼ねて、お灸をしてみました。夏の疲れもちょっと回復!!(北の大地)



古くから「奈良道」や「大和道」と呼ばれていた本街道は、明治期になって県が「奈良街道」と名付けました。そして、区間も一志郡中林村(松阪市)から久居(津市)を経て安濃郡五百野村(津市美里町)の伊賀街道に至る約四里四町(一六・一km)と定められたのです(「明治十年県統計表」)。

中林の月本地区には「月本おひわけ」と刻んだ大きな道標が今も立っており、ここが伊勢街道(参宮道)と奈良街道の分岐点です。

その月本追分から奈良街道を久居に向つていくと雲出川があります。本街道の雲出川への架橋は遅れ、明治期にも一志郡川原木造村(松阪市)と牧村(津市)の間で渡し船が往来していました。しかし、船の老朽化などで浸水や転覆事故が起り、明治末期にようやく架橋の工事が始まり、大正二(一九一三)年に完成しました。橋は「大正橋」と命名され、その歴史を物語っています。

雲出川を渡ると、街道は物部神社の森を東に眺めながら川に沿って進み、途中水田地帯を抜けて牧の集落のある一段高い台地に登ります。この牧地内では三か所に小さな道標が残存しています。特に台地麓の道標は大半が埋められています。そのあたりの道は「道者道」と言われ、古い街道の面影がしのべれます。

また、牧から川方に入ると、天満宮の参道入口に文政四(一八二二)年に献納された擬宝珠の常夜灯が見られます。そして、久居に至ると、まず二ノ町には弘化三(一八四六)年建立の比較的大きな道標が残されており、町筋の多い久居の町を通る旅人の頼りとなつていたようです。

三重大学附属図書館 研究開発室客員教授 吉村 利男



三重大学 企画総務部総務チーム 広報室
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
 E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.32
 平成26年7月発行
 ●発行/三重大学広報委員会
 ●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室
 ●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
 ◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

「奈良街道 月本〜久居」



歴史街道シリーズ